

会議名 財務常任委員会

日時 平成 30 年 3 月 23 日（金）午後 3 時 26 分～午後 3 時 35 分

場所 第 2、第 3 委員会室

出席議員（14 名）

委員長	関戸郁文	副委員長	伊藤隆信	委員	櫻井伸賢
委員	大野慎治	委員	鈴木麻住	委員	塚本秋雄
委員	相原俊一	委員	鬼頭博和	委員	須藤智子
委員	梅村 均	委員	木村冬樹	委員	枅谷規子
委員	堀 巖	委員	宮川 隆		

欠席議員 なし

説明員（10 名）総務部長 山田日出雄、市民部長 柴田義晴、健康福祉部長 山北由美子、建設部長 西垣正則、消防長 堀尾明弘、教育こども未来部長 長谷川忍
行政課長 中村定秋、同主査 森 吉正、学校教育課長 石川文子、同統括主査 佐野亜矢

事務局出席 議会事務局長 尾関友康、同主任 高野真理子

付議事件及び審議結果

議案番号	事件名	採決結果
議案第 39 号	平成 2 9 年度岩倉市一般会計補正予算（第 7 号）	全員賛成 原案可決
議案第 40 号	平成 3 0 年度岩倉市一般会計補正予算（第 1 号）	全員賛成 原案可決

財務常任委員会（平成30年3月23日）

◎委員長（関戸郁文君） ただいまから財務常任委員会を開催いたします。

当委員会に付託されました案件は、議案2件であります。これらの案件を逐次議題といたします。

それでは審査に入ります。

議案第39号「平成29年度岩倉市一般会計補正予算（第7号）」を議題といたします。

当局の説明はいかがいたしましょうか。

〔「省略」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（関戸郁文君） 当局の説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑はございませんか。

◎委員（櫻井伸賢君） 濟みません、減ったふえたなんでどっちで聞いてもいいんですけども。要は手持ちの、自分の市税で持ち出すのが減ったと。補助率が90%から100%、ほぼ手持ちをなしでというふうになるんですけど、補正だとそういうふうな制度なんですか。お聞かせください。

〔「質問の意味がわからない」と呼ぶ者あり〕

◎委員（櫻井伸賢君） 濟みません。

国の補助金が29年度の補正でいきますと1,857万円、市債が1億2,670万円で、平成30年度の補正予算でいけば、同じく国費が1,857万円だったのと、市債が9,500万円だったと。それで、市債の借りられる金額が大きくなっているというようなイメージなんですけれども、これは要は補助率が補正予算で手を挙げると限りなく100%に近いという、そういう制度設計なのかお聞かせください。

◎学校教育課統括主査（佐野亜矢君） このたび補正、起債のことだと思いますが、補正予算の起債ということで100%という借入率になっております。

◎委員（櫻井伸賢君） わかりました。以上です。

◎委員（榎谷規子君） 当初予算では、交付金がつかずに補正でついたということなんです、補正で交付金がつくよと国から言われたのはいつの時点なんですか。

◎学校教育課統括主査（佐野亜矢君） こちらで連絡を受けましたのは、2月20日付で文書をいただいております。

◎委員（宮川 隆君） 全般的なところでお聞きしたいんですけども、無計画にこれだけ大きな金額というのを予算編成するということは考えられない。一定国の補助金がつくという前提で考えられると思うんですけども、

言いかえれば、年度末に国の補助金を当てにして大きなプロジェクトを組んでいるというふうな見方もできると思うんですね。

今後、公共施設の建てかえだとか、そういう大きなプロジェクトがめじろ押しに想定される中で、このような時期に補助金がつく前提とした予算編成というのは今後も続いていくというふうにお考えなんでしょうか。

◎行政課長（中村定秋君）　今回はもともと実施計画でも計上されていた事業、それを平成30年度の新年度の予算に計上していたものが、国の補正によって前倒しをして29年度の事業として繰り越してやるということです、決して無計画に大型事業が突然出てきたというわけではないと考えています。

基本的には、大きな事業であります、当然実施計画なり、あるいは新年度予算なりに計上して行っていくということです、基本的には突然大きな事業が補正予算によって生じるということはないと考えていますけれども、ただそれも状況次第ということになるかと思えます。

◎委員（大野慎治君）　今回の国からの補助はいいことだと思いますが、申請したのはいつだったんでしょうか。

◎学校教育課統括主査（佐野亜矢君）　建築計画として初めて上げましたのは6月になります。平成29年の6月です。

◎委員（大野慎治君）　これは6月から補助を受けるように申請を出したということですか。補助の申請を受けるというのは、国にまだ当初予算しかないときに、そんな早くから申請は出さないものですけど、この補助を受けるための申請はいつしたのか。

◎学校教育課統括主査（佐野亜矢君）　申請は、この内示を受けてから提出しております。6月に出しましたのは、30年度にこういった事業を計画しておりますという建築計画ということで、岩倉中学校の工事を初めて提出しております。

◎委員長（関戸郁文君）　ほかに質疑はございませんか。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（関戸郁文君）　よろしいですか。ないようですので質疑を終結いたします。

次に、議案に対する討論に入ります。

討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（関戸郁文君）　討論はないようですので、直ちに採決に入ります。

議案第39号「平成29年度岩倉市一般会計補正予算（第7号）」について、賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

◎委員長（関戸郁文君） 挙手全員であります。

採決の結果、議案第39号は全員賛成により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第40号「平成30年度岩倉市一般会計補正予算（第1号）」を議題とします。

当局の説明はいかがいたしましょう。

〔「省略」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（関戸郁文君） 当局の説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（関戸郁文君） ないようですので質疑を終結いたします。

討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（関戸郁文君） 討論もないようですので、直ちに採決に入ります。

議案第40号「平成30年度岩倉市一般会計補正予算（第1号）」について、賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

◎委員長（関戸郁文君） 挙手全員であります。

採決の結果、議案第40号は全員賛成により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案は全て議了いたしました。

なお、本委員会の委員長報告の文案につきましては、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（関戸郁文君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で財務常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。